

はじめに

このたびは、弊社のスーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、スーパーマルチドライブユニット（以降、本製品）の基本的な取り扱い方と、CD-R/RW、DVD-R/RW、DVD+R/RW 用アプリケーション「Roxio DigitalMedia SE」および DVD ディスクの再生を行うアプリケーション「WinDVD」について説明しています。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願ひいたします。

2005 年 11 月

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じことがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会のハーハンコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品は、高調波電流規格 JIS C61000-3-2 適合品です。

お気をつけください

個人または家庭内など限られた範囲内での使用（以下「私的使用」といいます）を目的とする場合を除き、あなたが著作権をお持ちでない著作物を権利者に無断で複製することは著作権法で禁じられまた、著作物によっては、その使用許諾条件で複製が制限されたり、禁じられている場合がありますので、「私的使用」を目的とする場合でも使用許諾条件の内容に従ってください。

保証書について

- 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 5 年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2. バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4. 複製

(1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。

本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。

ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

(2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6. 改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7. 保証の範囲

(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関する弊社が必要と判断した情報を提供いたします。

また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。

(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中止、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関する責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

8. ハイセイフティ

本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のようないくつかの用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

■コマンド入力 (キー入力)

本製品のドライブ名を「CD/DVD ドライブ」で表記しています。入力の際はお使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

例：[CD/DVD ドライブ]:\\$setup.exe

- 上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

■画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やディスク、データの種類によって、実際に表示されている画面やイラストおよびファイル名などが異なることがあります。また、本書に表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作
↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。
また、本文中の操作手順において、操作手順の類似しているものは、あわせて記述しています。

例：「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記			
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	Windows XP	Windows 注	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition			
Microsoft® Windows® 2000 Professional	Windows 2000			
Roxio DigitalMedia SE	Roxio DigitalMedia			
WinDVD™ 5	WinDVD			

注：Windows XP/2000 のように併記する場合があります。

■ 警告表示

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようにになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

△ 警告

-  濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。
-  振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。
本製品が落ちて、けがの原因となります。
-  AC アダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。
火災・感電の原因となります。



- ・ AC アダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。
火災・故障の原因となることがあります。
- ・ AC アダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取ってください。
ほこりがたまつたままの状態で使用すると火災の原因となります。
- ・ 電源プラグは、壁のコンセント (AC100V) に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしないでください。
感電・火災の原因となります。

⚠ 注意



- ・ コネクタ端子に触れないでください。
本製品やパソコン本体の故障の原因となることがあります。



- ・ AC アダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。
感電・火災の原因となります。



- ・ ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。
耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・ ひび割れ、変形したディスクは使わないでください。
高速回転しますので、ディスクが飛び散って故障やけがの原因となることがあります。
接着剤などで補修したディスクも同様に使用しないでください。



- ・ 本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電・火災の原因となることがあります。



- ・ 電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。
突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



- ・ 衝撃や振動を与えないでください。
故障の原因となることがあります。

■ レーザーの安全性について

本製品は、レーザーを使用しています。

クラス1 レーザー製品

本製品は、クラス1 レーザー製品について規定している米国の保険福祉省 (DHHS) 連邦規則 (21 CFR Chapter I, Subchapter J) に準拠しています。また、クラス1 レーザー製品の国際規格である (IEC 60825-1)、CENELEC 規格 (EN60825-1:1994+A11+A2:2001) および、JIS 規格 (JISC6802) に準拠しています。

⚠ 警告



- お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。
本装置は、レーザー光線を遮断する安全な構造になっていますが、分解したり修理・改造したことで、レーザー光線が装置外にもれて目に照射され、視力障害の原因となります。
- 本装置は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。
レーザー光線が目に照射されると視力障害の原因になります。

■ 免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中止・記憶内容の変化・消失など）に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 不適切な接続、および取り扱いにより生じたデータの損失ならびに直接的、間接的な損害につきましては、弊社は一切の保証をいたしません。あらかじめご了承ください。
- 重要なデータに関しては、万一に備えて元データと照合（ファイルコンペア等）を追加した状態でバックアップ（複製）を行ってください。

■ 商標および著作権について

Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

SmoothLinkは松下電器産業株式会社の登録商標です。

WinDVDはInterVideo Incorporatedの商標です。

ROXIO DigitalMedia SEはSonic Solutionsの登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright©. FUJITSU LIMITED 2005

目次

はじめに	1
本書の表記	3

第1章 概要

1 概要	10
特長	10
梱包物の確認	10
AC アダプタについて	10
本製品付属のソフトウェア	11
本製品をご使用いただくための手順とながれ	11
使用できるディスク	12
2 各部の名称と働き	16
3 対応 USB について	18
4 パソコン本体への接続	19
本体と USB ケーブルの接続	19
USB ケーブルの取り外し	20
5 ディスクのセット／取り出し	21
ディスクのセット	21
ディスクの取り出し	22
ディスクが取り出せないときは	23

第2章 DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする

1 DVD-RAM ドライバーソフトについて	26
2 DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする	27
3 DVD-RAM ディスクの使い方	28

第3章 Roxio DigitalMedia をインストールする

1 Roxio DigitalMedia について	30
2 Roxio DigitalMedia をインストールする	31
インストール	31
Roxio DigitalMedia の使い方	31

第4章 WinDVD をインストールする

1 WinDVD のインストール	34
2 WinDVD の使い方	35
WinDVD を起動する	35
WinDVD を終了する	36

第5章 付録

1 ドライブの取り扱い	40
2 お手入れについて	42
3 こんなときには	43
お問い合わせ先	48
リサイクルについて	48
有寿命部品について	49
4 用語集	50
5 仕様	54

1

第1章

概要

1 概要	10
2 各部の名称と働き	16
3 対応 USB について	18
4 パソコン本体への接続	19
5 ディスクのセット／取り出し	21

1 概要

特長

書き込み用 CD、DVD ディスクを使う

付属の Roxio DigitalMedia (→ P.29) を使用して、データ、映像および音楽ディスクを作成できます。

DVD-ROM 機能

既存の CD-ROM 媒体からの読み出しに加えて、より大容量のデータを記録した DVD-ROM からの読み出しができます。

DVD や CD ディスクを使う

DVD や CD ディスクの使用方法については、それぞれの DVD/CD-ROM (アプリケーション) に付属の説明書や Readme ファイルなどをご覧ください。使用できるディスクの種類は「使用できるディスク」 (→ P.12) をご覧ください。

音楽 CD を再生する

本製品で音楽 CD を再生するには、パソコンのデジタル再生が「有効」に設定されている必要があります。音楽 CD をパソコンに接続されたスピーカーやパソコン内蔵のスピーカーから音楽を聞くことができます (詳しくは、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください)。

梱包物の確認

- ・ スーパーマルチ ドライブ ユニット
- ・ ソフトウェア CD-ROM (CD の内容…DVD-RAM ドライバーソフト、Roxio DigitalMedia、WinDVD 5)
- ・ AC アダプタ／電源コード
- ・ USB ケーブル
- ・ 保証書
- ・ 取扱説明書 (本書)

お使いになる前に、上記のものが梱包されていることをお確かめください。
万一不備な点がございましたら、おそれいりますが、ご購入元にご連絡ください。

AC アダプタについて

必ず添付の AC アダプタ (UJDB360PS2) をご使用ください。

本製品付属のソフトウェア

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。ドライバソフトは本製品を使用するのに必要なソフトです。必ずインストールしてください。

■ DVD-RAM ドライバーソフト

ハードディスクとほぼ同様の操作で、データ書き込みを可能にする DVD-RAM を使うことができます。

DVD-RAM の保存形式は、FAT 形式 (FAT32) または UDF 形式 (UDF1.5 および UDF2.0) を選択することができます。ただし、パケットライト機能を使用することはできません。

POINT

▶ DVD-RAM ドライバーソフトと DLA を同時にインストールすることはできません。お使いの目的に合わせてソフトウェアをインストールしてください。

■ アプリケーション

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。

- ・ 映像再生ソフト : WinDVD (→ P.33)
- ・ CD/DVD 書き込みソフト
 - ライティングソフト : Roxio DigitalMedia (→ P.30)
 - パケット記録ソフト : DLA (Web からダウンロード) (→ P.30)

本製品をご使用いただくための手順とながれ

- 1 対応 USB の確認 (→ P.18)
- 2 DVD-RAM ドライバーソフトのインストール (→ P.25)
- 3 アプリケーションを使う
 - ・ Roxio DigitalMedia (→ P.30)
 - ・ WinDVD (→ P.33)

使用できるディスク

ディスクの種類		読み込み	書き込み	書き換え
CD-ROM		○	×	×
CD-ROM XA		○	×	×
CD-DA (音楽 CD)		○	×	×
Video CD		○	×	×
CD-EXTRA		○	×	×
CD TEXT ^{注1}		○	×	×
Photo CD ^{注2}		○	×	×
CD-R		○	○	×
CD-RW	  	○	○	○
DVD-Video ^{注3}		○	×	×

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

ディスクの種類		読み込み	書き込み	書き換え
DVD-ROM		○	×	×
DVD-RAM ^{注4}		○	○	○
DVD-R		○	○	×
DVD-R DL		○	○	×
DVD-RW		○	○	○
DVD+R		○	○	×
DVD+R DL		○	○	×
DVD+RW		○	○	○

注1：付属アプリケーションを使用することにより、再生が可能です。

注2：使用時には市販の専用ソフトが必要です。

注3：再生可能なDVD-Videoは、リージョンコードが「2」か、「ALL」と書かれているディスクです。リージョンコードが異なる場合は設定の変更が必要です。リージョンコードの変更は4回までで、最後に設定したリージョンコードに固定されます。

注4：DVD-RAMの再生は、カートリッジから取り出し可能なメディア、またはカートリッジがないメディアに限ります。

- 本製品に使用するディスクは、以下のものを推奨します。

ディスク	メーカー
CD-R	太陽誘電(株)、三菱化学メディア(株)、日立マクセル(株)
CD-RW	三菱化学メディア(株)、富士通サプライ品
High Speed CD-RW	三菱化学メディア(株)
Ultra Speed CD-RW	三菱化学メディア(株)
DVD-RAM	松下電器産業(株)、日立マクセル(株)
DVD-RW	日本ビクター(株)、三菱化学メディア(株)
DVD-R	松下電器産業(株)、太陽誘電(株)、三菱化学メディア(株)
DVD-R DL	三菱化学メディア(株)

ディスク	メーカー
DVD+R	(株) リコー、三菱化学メディア (株)
DVD+R DL	三菱化学メディア (株)
DVD+RW	三菱化学メディア (株)

富士通サプライ用品については、以下にお問い合わせ下さい。

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター

0120-505-279

9:00 ~ 17:30 (土曜・日曜・祝日・年末年始除く)

<http://jp.fujitsu.com/coworco/>

■ DVD-RAM ディスクについて

- DVD-RAM ディスクは、「記録できる DVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。
- DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。
 - TYPE1 : カートリッジからのディスクの取り出しができません。
 - TYPE2 : 片面のディスクで、カートリッジからディスクの取り出しができます。
 - TYPE4 : 両面のディスクで、カートリッジからディスクの取り出しができます。
 - カートリッジなし
- 本機でご使用いただける DVD-RAM ディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2 または TYPE4 の DVD-RAM ディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。また TYPE1 はご使用できませんのでご注意ください。

◆ 重要

- ▶ ディスクをお使いになるときは、次の点に注意してください。
 - ・ケースから取り出すときやパソコンにセットするときなど、ディスクは両面とも触れないようにしてください。
 - ・ディスクは両面とも指紋やほこり、傷などをつけないでください。
 - ・ディスクは両面ともラベルを貼ったり、ボールペンや鉛筆などで字を書いたりしないでください。
 - ・曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
 - ・中心の穴を大きくしないでください。
 - ・汚れたり、水滴がついたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側に向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
 - ・シリコンクロスは使用しないでください。
 - ・ヘアードライヤーなどで乾燥させたり自然乾燥させないでください。
 - ・ペンジン、シンナー、レコードスプレー、静電気防止剤などで拭かないでください。
 - ・コーヒーなどの液体がかかるないようにしてください。
 - ・高温や低温の場所に保管しないでください。
 - ・湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
 - ・使わないときは、ケースに入れて保管してください。
- ▶ 円形以外（星型やカード型などの変形）のディスクはお使いにならないでください。正常に読み込みや書き込みが行えなかったり、故障の原因となる場合があります。
- ▶ 傷またはヒビの入ったディスクをお使いになると、ドライブ内部で破損する場合があります。
- ▶ ゆがんだディスク、割れたディスク、ヒビの入ったディスクはお使いにならないでください。故障の原因となることがあります。これらのディスクをお使いになり故障した場合は、保証の対象外になります。
- ▶ 市販の CD-ROM クリーニングディスクを使ってクリーニングを行うと、レンズにゴミなどが付着することがあります。CD-ROM クリーニングディスクはお使いにならないでください。

- ▶ 規格外の厚さのDVD媒体はお使いにならないでください。DVD規格では媒体の厚さを1.14mm～1.5mmと規定しています。記録面が薄い媒体など、一部でもこの範囲外の厚さになっている媒体をお使いになると故障する場合があります。規格外のDVD媒体をお使いになり故障した場合は保証の対象外となります。
- ▶ コピーコントロールCDについては、現状の音楽CDの規格に準拠していない特殊なディスクのため、本パソコンでの再生および動作保証はできません。コピーコントロールCDのご使用中に不具合が生じた場合は、各コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。なお、正式な音楽CD規格に準拠したCDには、次のようなロゴが表示されています。

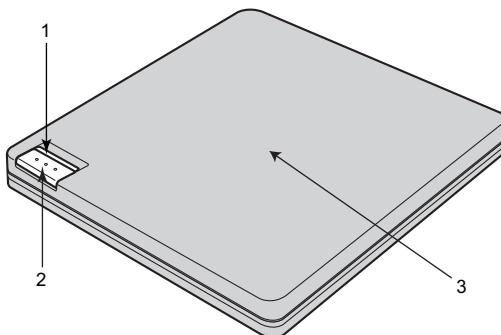


POINT

- ▶ 不正コピー防止の仕様に準拠していないDVDディスクやVideo CDは、正常に再生できない場合があります。
- ▶ DVD-Audioはお使いになれません。

2 各部の名称と働き

■表面



1 インジケーター

- ・緑色点灯：本製品の電源が入っている状態です。
- ・オレンジ色点灯：データを記録・再生している状態です。
- ・緑色／オレンジ色交互点灯：DVD+RWディスクでバックグラウンドフォーマットしているとき、または自動的にフォーマットしているときSmoothLink機能時は一時的に緑色点灯に変化します。

2 オープン

ディスクに記録中はロックされています。

3 ディスクカバー

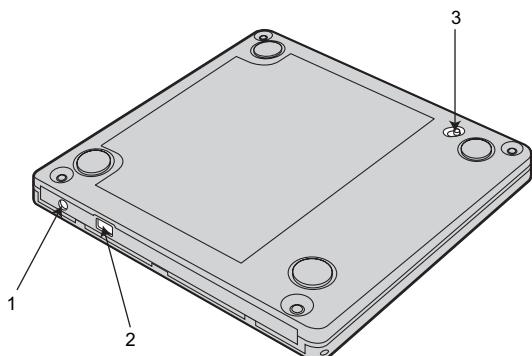
重要

►ディスクカバーを開くには「ディスクのセット／取り出し」(→ P.21)をご覧ください。

POINT

►オープンボタンを押したり、記録が終了した場合などに、ディスクカバーのロックが解除されます。続けてご使用になる場合は、ディスクカバーを完全に開いてからディスクカバーを閉じてください。

■裏面



- 1** DC 入力端子
- 2** USB コネクタ
- 3** 強制オープンレバー (→ P.23)

3 対応 USB について

パソコンが USB2.0 に対応していない場合は、USB1.1 の環境で動作します。USB の規格について、パソコン本体のマニュアルをお確かめください。

POINT

- ▶ USB1.1 インターフェース環境で接続された場合
 - ・書き込みおよび読み込み速度は最大 8 倍速相当となります。
 - ・高倍速記録での CD-R/RW への書き込み、CD-RW の書き換え、DVD-Video の再生は USB2.0 環境でご使用ください。

■ USB2.0 で使用する

□ Windows XP の場合

ドライバは不要です（Windows XP で Service Pack1 未対応の場合は、Windows Update を適用してください）。

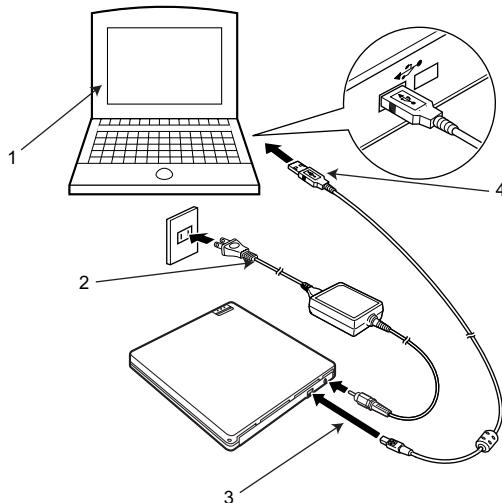
□ Windows 2000 の場合

Windows Update で Service Pack4 を適用してください（→ P.27）。

4 パソコン本体への接続

本体と USB ケーブルの接続

接続は確実に行ってください。



- 1 パソコン本体を起動します。
- 2 本製品に AC アダプタを接続します。
- 3 付属の USB ケーブルのコネクタ（小さい方）を、本製品の USB コネクタに差し込みます。
- 4 片方の USB ケーブルのコネクタ（大きい方）をパソコンの USB コネクタに差し込みます。

本製品の電源が自動的に入り、インジケータが緑色に点灯します。

☞ 重要

- ▶ 添付の USB ケーブル以外は使用しないでください（本製品やパソコン本体を損傷するおそれがあります）。
- ▶ 長時間使用しないときは、節電のため AC アダプタを電源コンセントから抜いておいてください。AC アダプタを接続した状態でも、約 1W の電力を消費しています（AC100V 時）。
- ▶ AC アダプタを電源コンセントに接続する場合は、本製品近くの容易に抜き差しできる電源コンセントをお使いください。
- ▶ 本製品は、パソコン本体の USB コネクタに直接接続してください。USB ハブ経由での接続は動作保証いたしかねます。

POINT

- ▶ 本製品の電源は、パソコンの電源に連動して自動的にオン／オフされます。ただし、パソコン本体によっては、パソコン本体の電源を切っても、本製品の電源が切れない場合があります。
- ▶ USB ケーブルを抜き差しすることで、本製品の電源は自動的にオン／オフされます。

USB ケーブルの取り外し

重要

- ▶ USB ケーブルを取り外す前に、書き込みソフトでの記録や、データ・音楽の再生などの作業を終了し、あらかじめ本製品からディスクを取り出してください。

1 通知領域（タスクトレイ）の「取り外し」アイコンをクリックします。
メッセージが表示されます。

2 表示されたメッセージをクリックします（表示されるメッセージは状況により異なります）。

- ・ Windows XP の場合
「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を安全に取り外します」
- ・ Windows 2000 の場合
「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (E:) を停止します」

3 「'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。」と表示されるのを確認して、「閉じる」ボタンまたは「OK」をクリックします。

4 USB ケーブルを抜きます。

POINT

- ▶ インジケーターがオレンジ色に点灯中は、USB ケーブルや AC アダプタを抜かないでください。また、スタンバイ／休止状態に移行させないでください。
データ破壊のおそれやパソコンが正常に操作できなくなることがあります。パソコンの操作が正常にできなくなった場合には、パソコン本体を再起動してください。
- ▶ 本製品にディスクが入っている状態では USB ケーブルを抜かないでください。
▶ 「DLA」をご使用の場合には、「マイコンピュータ」のドライブを右クリックし、「取り出し」を選択してから USB ケーブルを抜いてください。

5 ディスクのセット／取り出し

本製品は電動オープン機構になっているため、電源が入っていないときはオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。

POINT

- ▶ ディスクカバーは、ディスクのセット／取り出しの場合以外は閉めておいてください。ほこりが入り、故障の原因となります。
- ▶ レンズに手を触れないでください。故障の原因となります。
- ▶ ディスクはデータの読み込みなどの際、高速で回転するため、使用時に振動や風切音がすることがあります。

ディスクのセット

1 本製品をパソコンに接続します (→ P.19)。

本製品の電源は、パソコン本体の電源に連動して自動的にオン／オフされます。

POINT

- ▶ パソコン本体の電源の入れ方については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

2 オープンボタンを押します。

ディスクカバーが少し開きます。

3 ディスクカバーを持ち上げて開きます。

4 ディスクをセットします。

ディスクの中心付近をディスクが固定されるまで指で押さえてはめ込みます。



重要

- ▶ ディスクをきちんとはめ込まないと、ディスクがドライブ内部で外れて、ドライブ内部およびディスクを破損する原因となることがあります。

5 ディスクカバーを閉じます。

POINT

- ▶ オープンボタンを押したり、記録が終了した場合に、ディスクカバーのロックが解除されて自動的に開きます。そのまま続けてご使用いただく場合は、ディスクカバーを一度完全に開いてからディスクカバーを閉じてください。
- ▶ 本製品で使用できるDVD-RAMディスクは、カートリッジなしのタイプです。TYPE2またはTYPE4のDVD-RAMディスクは、カートリッジからディスクを取り出してご使用ください。

ディスクの取り出し

重要

- ▶ ディスクの取り出し操作をする前に、本製品のインジケータがオレンジ色に点灯していないことを確認してください。

POINT

- ▶ 「DLA」をご使用の場合には、次の方法で取り出してください。
 1. 「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックします。
 2. 表示されたメニューから「取り出し」を選択します。

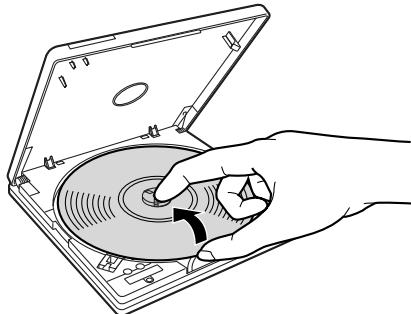
1 オープンボタンを押します。

ディスクカバーが少し開きます。

2 ディスクカバーを持ち上げて開きます。

3 ディスクを取り出します。

中央部分を押さえながら、端の方からつまみあげるようにして、取り出します。



POINT

- ▶ 本製品にディスクが入っている場合は、使用中のアプリケーションからディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーを開くことができます。

ディスクが取り出せないときは

データ書き込み中の故障や停電などで、オープンボタンを押してもディスクカバーが開かない場合は、ディスクカバーロックを強制的に解除し、ディスクカバーを開けることができます。

1 本製品裏側の強制オープンレバーをスライドさせます。

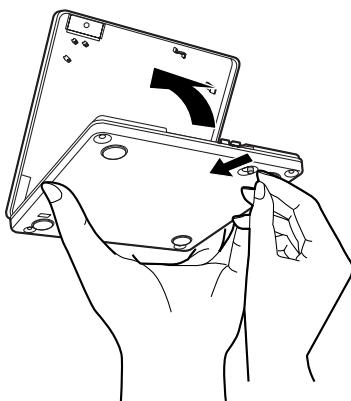
ディスクカバーが少し開きます。

2 ディスクカバーを持ち上げて開きます。

※ 重要

▶ ディスクの回転が止まらないときは、AC アダプタをコンセントから抜いて、完全に回転を止めてください。

回転中にディスクカバーを開けるとディスクが外れて飛び出し、ディスクや本製品を破損したり、けがの原因となる可能性があります。



2

第2章

DVD-RAM ドライバーソフトを インストールする

1 DVD-RAM ドライバーソフトについて	26
2 DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする	27
3 DVD-RAM ディスクの使い方	28

1 DVD-RAM ドライバーソフトについて

ハードディスクとほぼ同様の操作で、データ書き込みを可能にするDVD-RAMを使うことができます。DVD-RAMの保存形式は、FAT形式（FAT32）またはUDF形式（UDF1.5およびUDF2.0）を選択することができます。ただし、パケットライト機能を使用することはできません。

2 DVD-RAM ドライバーソフトをインストールする

☞ 重要

- ▶ インストール中に電源が切れないように、パソコンはACアダプタを接続した状態でご使用ください。
- ▶ インストールする前に、必ず管理者権限 (Administrator) のあるユーザーでログオンしてからインストールしてください。

1 パソコンに本製品を接続します。

「USB ケーブルの接続」(→ P.19) をご覧ください。

2 添付の CD-ROM を本製品にセットします。

「ディスクを入れる」(→ P.21) をご覧ください。自動で起動しセットアップメニューが表示されます。

POINT

- ▶ 自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に以下のように入力すると、セットアップメニューが表示されます。

[CD/DVD ドライブ]:\Asmenu.exe

3 「DVD-RAM ドライバー」をクリックします。

4 インストール画面が表示されるので、画面の表示に従ってインストールを行ってください。

インストールが終了したら、パソコンを再起動します。

POINT

- ▶ DLA と DVD-RAM ドライバーソフトを同時にインストールすることはできません。
- ▶ Windows XPをお使いの場合は、Windows XPの書き込み機能を使用しない設定にしてください。

次の手順でドライブの設定を変更してください。

1. 「スタート」ボタン→「マイコンピュータ」の順にクリックします。
 2. DVD-RAM を割り当てるドライブを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
 3. 「書き込み」タブで「このドライブで CD 書き込みを有効にする」のチェックを外します。
 4. 「OK」をクリックします。
- ▶ DVD-RAM ディスクをフォーマットする場合は、お使いになる目的にあわせて、フォーマット形式を選んでください。

3 DVD-RAM ディスクの使い方

DVD-RAM ディスクの使い方は、「スタート」→「すべてのプログラム」（Windows 2000 の場合「プログラム」）→「DVD-RAM」→「DVD-RAM ドライバー」→「DVD-RAM ディスクの使い方」をご覧ください。

3

第3章

Roxio DigitalMedia を インストールする

1 Roxio DigitalMedia について	30
2 Roxio DigitalMedia をインストールする	31

1 Roxio DigitalMedia について

「Roxio DigitalMedia」は、さまざまなデータ／オーディオディスクの作成を簡単に実行できる、ディスクマスタリングアプリケーションです。

POINT

- ▶ 「Roxio DigitalMedia」は、著作権を持っているか、または著作権者からコピーの許可を得ている材料の再作成を手助けするように設計されています。著作権を所有していないか、または著作権者からコピーの許可を得ていない場合は、著作権法に違反し、損害賠償やその他の刑罰を課せられることがあります。自分の権利について不明な場合は、法律家にご相談ください。
- ▶ Roxio DigitalMedia では、パケットライ特機能はご使用になれません。パケットライ特機能をご使用になる場合は、パケットライ特用アプリケーション「DLA」が必要です。「DLA」はパケットライ特機能を使用して、CD や DVD、DVD-RAM などに保存することができるアプリケーションです。ハードディスクとほぼ同様の操作で、データの書き込みが可能です。DVD-RAM の保存形式は、UDF 形式 (UDF2.0) です。

「DLA」は次の方法でインストールしてください。

1. パソコン本体に Roxio DigitalMedia がインストールされていることを確認します。
インストールされていない場合には、DLA のインストールの前に Roxio DigitalMedia をインストールしてください（→ P.31）。
 2. パソコン本体をインターネットに接続します。
 3. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Roxio」→「DigitalMedia Home」の順にクリックします。
「Roxio DigitalMedia SE」ウィンドウが表示されます。
 4. 「ヘルプ」ボタン→「Web のテクニカルサポート」の順にクリックします。
サポートの Web ページが表示されます。
 5. Web ページ内の「日本語のサポートページはこちら」をクリックします。
 6. Web ページ内の「ダウンロード」をクリックします。
この後は、メッセージに従って操作してください。
- ▶ 1枚のディスクに Roxio DigitalMedia と DLA を交互に使ったデータの書き込みはできません。どちらかのアプリケーションで書き込みを行ったあとは、同じアプリケーションを使って書き込みを継続してください。
 - ▶ DLA と DVD-RAM ドライバーソフトを同時にインストールすることはできません。

2 Roxio DigitalMedia をインストールする

POINT

- ▶ Roxio DigitalMedia をインストールする前に、パソコン本体に本製品を取り付けてください (→ P.19)。

インストール

1 添付のソフトウェア CD-ROM を本製品にセットします。

自動的に起動しセットアップメニューが表示されます。

POINT

- ▶ 自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に以下のように入力します。

[CD/DVD ドライブ]:\Asmenu.exe

2 表示されたセットアップメニューから「Roxio DigitalMedia」をクリックします。

3 Roxio DigitalMedia のセットアップウィザードが表示されますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

4 インストールが終了したら「完了」をクリックします。

5 再起動のウィンドウが表示されたら「はい」をクリックします。 パソコン本体が再起動します。

POINT

- ▶ DVD+R DL にデータ書き込みを行う場合は、DVD-ROM との互換性を高めるために「Extended Partial Lead-out」(約 512MB) が書き込まれます。このため、最大書き込み容量は約 7.99GB となります。

Roxio DigitalMedia の使い方

「Roxio DigitalMedia」の使い方については、「ヘルプ」をご覧ください。
「ヘルプ」の表示は、「Roxio DigitalMedia」を起動して、「ヘルプ」タブ内の「ヘルプ」をクリックします。

4

第4章

WinDVD をインストールする

ここでは、DVD を再生するためのアプリケーション「WinDVD」のインストール方法を説明します。

1 WinDVD のインストール	34
2 WinDVD の使い方	35
3 再生可能地域コード（リージョンコード）について	37

1 WinDVD のインストール

本製品には DVD 再生ソフトとして、WinDVD が付属していますので、添付の CD-ROM からインストールしてください。

重要

- ▶ ご使用のパソコンに、旧バージョンの WinDVD や他社の DVD 再生ソフトがインストールされている場合は、インストール前に削除してください。
- ▶ 使用中のアプリケーションおよびウイルス対策などの常駐監視型プログラムがある場合は、インストール前に終了してください。
- ▶ 管理者権限を持ったユーザーとしてログオンして WinDVD をインストールしてください。

1 添付のソフトウェア CD-ROM を本製品にセットします。

自動的に起動し、セットアップメニューが表示されます。

POINT

- ▶ 自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックし、「名前」に以下のように入力します。
[CD/DVD ドライブ]:\\$Asmenu.exe

2 表示されたセットアップメニューから「WinDVD」をクリックします。

WinDVD のセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってインストールを行ってください。

3 「セットアップの完了」ウィンドウが表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」にチェックをつけて「完了」をクリックします。 パソコン本体が再起動します。

2 WinDVD の使い方

WinDVD を起動する

■ 重要

- ▶ WinDVDを起動する場合は、「画面のプロパティ」ウインドウの「設定」タブで「詳細」または「詳細設定」をクリックし、「パフォーマンス」タブまたはトラブルシューティングにある「ハードウェアアクセラレータ」の設定を「最大」にしてください。
- ▶ WinDVDを起動する場合は、Roxio DigitalMediaを終了させてください。
- ▶ 自動的にパソコン本体がスタンバイまたは休止状態にならないように、省電力の設定を変更してください。また、WinDVDの起動中は、パソコン本体をスタンバイまたは休止状態にしないでください。
- ▶ WinDVDを起動中に解像度や色数、表示装置などを変更しないでください。誤動作の原因となります。
- ▶ DVDディスクによっては、正常に再生されなかつたり、画面が乱れたりすることがあります。
- ▶ WinDVDと他の動画再生アプリケーションや画像処理アプリケーションを同時に起動しないでください。
- ▶ WinDVDと他の音声再生アプリケーションを同時に起動しないでください。
- ▶ パソコン本体で仮想スクリーンモードに設定している場合は、WinDVDを起動しないでください。誤動作の原因となります。
- ▶ DVDは、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。WinDVDではソフト制作者が意図したディスク内容に従って再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクのマニュアルも必ずご覧ください。

■ POINT

- ▶ WinDVDの使用方法については、WinDVDのヘルプをご参照ください。
- ▶ DVD-Videoの再生画質は、ディスクやパソコンの能力、使用条件により変化します。

1 DVD ディスクを本製品にセットします。

WinDVDが自動的に起動し、DVDの再生画面が表示されます。

■ POINT

- ▶ WinDVDが自動的に起動しない場合は、「スタート」ボタン→「(すべての) プログラム」→「InterVideo WinDVD」→「InterVideo WinDVD」の順にクリックしてください。
- ▶ Windows XPでWinDVDが自動的に起動せず、「Windowsが実行する動作を選んでください。」というメッセージが表示された場合は「DVDムービーの再生InterVideo WinDVD使用」を選択し、「OK」をクリックしてください。

2 「OK」をクリックします。

DVDの再生画面が表示されます。

POINT

- ▶ DVD の再生直後、数秒間画面が正常に表示されないことがあります。
- ▶ 本製品にDVDディスクを入れたままWindowsを起動した場合、または再度「WinDVD」を起動する場合は、「スタート」ボタン→「（すべての）プログラム」→「InterVideo WinDVD」→「InterVideo WinDVD」の順にクリックしてください。

WinDVD を終了する

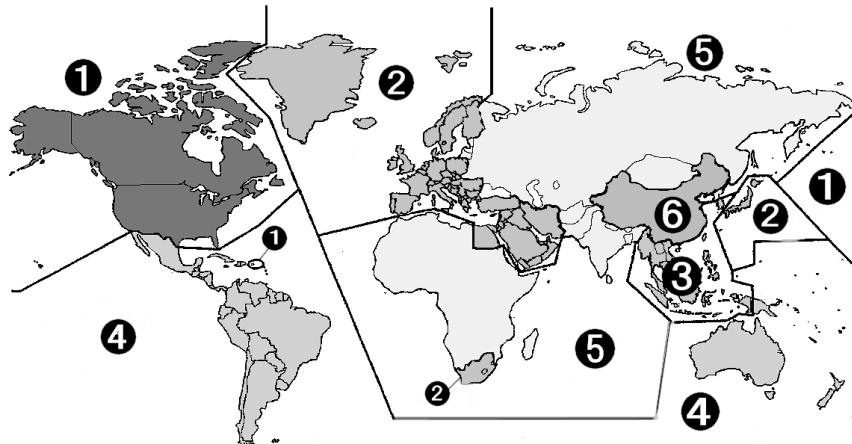
操作パネル右上にある「閉じる」をクリックします。
WinDVD が終了します。

POINT

- ▶ 操作パネル／ショートカットメニューの項目の中には、設定を変更できないものがあります。

3 再生可能地域コード（リージョンコード）について

多くの DVD-Video ディスクは、リージョンコードにより保護されています。リージョンコードは、下図のように地域ごとに管理されています。



DVD-Video を見るためには、下記のリージョンコードが一致している必要があります。

- ・DVD-Video ディスクのリージョンコード
- ・本製品のリージョンコード
- ・再生ソフト (WinDVD) のリージョンコード

異なるリージョンコードの DVD-Video ディスクを再生しようとした場合は、警告画面が表示されます。「OK」をクリックすると、リージョンコードの設定画面が表示されます。設定内容を確認し「OK」をクリックすると、再生ソフト (WinDVD) と、DVD-Video ディスクの再生ドライブ (本製品) は、新しいリージョンコードに設定されます。設定変更を確認し画面を終了すると再生が始まります。

POINT

- ▶ 本製品をご購入時のリージョンコードは「2」に設定されています。
変更は合計 5 回まで行なうことが可能ですが、ご購入の時点で 1 回目を設定していますので、変更可能な回数は 4 回までとなります。

5

第5章

付録

1 ドライブの取り扱い	40
2 お手入れについて	42
3 こんなときには	43
4 用語集	50
5 仕様	54

1 ドライブの取り扱い

■ 注意事項

- ・パソコン本体のCDアクセス表示が点灯・点滅中や、または本製品のインジケーターが点灯中には、振動や衝撃を与えないでください。
- ・磁石のそばや強い磁界を発生する場所での使用・保管は避けてください。
- ・超音波加湿器を使用している場所での使用・保管は避けてください。
- ・腐食性ガスが発生する場所、潮風が当たる場所での使用・保管は避けてください。
- ・直射日光の当たる場所や発熱器具のそばには近づけないようにしてください。
- ・寒い場所から暖かい場所に急に移動させないでください。冷えている本製品を暖かい場所へ急に移すと、レンズに水滴が付き（結露現象）、正しく動作しないことがあります。このような場合は、1時間ほど待ってから使用してください。
- ・通気性、換気性のよい場所でお使いください。
- ・本製品のインジケーターがオレンジ色点灯中は、ディスクを取り出したり、パソコン本体の電源を切らないでください。ディスクのデータが破壊されたり、本製品の故障の原因となります。
- ・本製品を移動させるときは、必ずディスクを取り出してください。ディスクが入っていると故障の原因となることがあります。

■ 書き込み／書き換え時の注意事項

- ・CD自動挿入機能（オートラン）が有効に設定されていると、正しく書き込み／書き換えができないアプリケーションがあります。アプリケーションの指示に従ってCD自動挿入機能を設定してください。
- ・書き込み／書き換え中は、パソコン本体の電源を切ったり、再起動したり、本製品のCD取り出しボタンを押したりしないでください。また、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押す操作もしないでください。
- ・書き込み／書き換え中にディスク面に傷などの障害を検出した場合、書き込み／書き換えを中断することがあります。
- ・書き込み／書き換えを行うときは、自動的にスタンバイまたは休止状態にならないように、省電力の設定を変更してください。
- ・書き込み／書き換えには、多くの電力を使用します。パソコン本体にACアダプタを取り付けてお使いください。
- ・書き込み／書き換え中は、他のアプリケーションを起動しないでください。他のアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了させてください。
- ・DLAをインストールしていない場合、CD-RWディスクに書き込んだデータを削除するには、ディスクに書き込まれているデータをすべて消去する必要があります。データの一部分のみを削除することはできません。

■ DVD-Video 再生時の注意事項

- ・再生するDVD-Videoによっては、コマ落ちをする場合があります。

- ・DVD-Video の再生中に他のアプリケーションを起動すると、コマ落ち／音飛びする場合があります。コマ落ち／音飛びを防ぐために、起動しているアプリケーションはすべて終了してください。
- なお、ウィルス対策ソフトやディスクユーティリティ、データベース更新など定期的に自動起動して処理を行うソフトウェアについても、その頻度により音や映像の再生に影響が出ますので、必要に応じて終了してください。
- ・DVD-Video および Video CD によっては、再生される映像データが表示エリア全体に表示されないものがあります。この場合は、表示の一部が黒くなります。
- ・映像フォーマットが MPEG1 の場合、データによっては再生できないものがあります。
- ・ディスクの種類によっては、専用の再生ソフトが添付されている場合があります。これらのディスクに添付の再生ソフトをインストールした場合、WinDVD での再生は保証いたしかねます。
- また、ディスクに添付されている再生ソフトの本製品での動作についても、弊社では保証いたしかねますのでご了承ください。
- ・リージョンコードの変更は 4 回までです。
- リージョンコードを 4 回変更すると、最後に設定したリージョンコードに固定され、その他のリージョンコードの DVD-Video は再生できなくなります。固定されたリージョンコードを変更する方法はありませんのでご注意ください。
- ・前回再生したDVD-Videoと異なるリージョンコードのDVD-Videoを再生しようとすると、リージョンコード変更を確認するメッセージ画面が表示されます。このメッセージ画面で「OK」をクリックすると、リージョンコードの設定が変更されます。
- ・ご購入時のリージョンコードは「2. 西ヨーロッパ、日本、南アフリカ」です。
- ・DVD-Video によっては、著作権保護のため、コピープロテクトがかかっている場合があります。WinDVD では、著作権保護としてデスクランブル機能および相互認証(Authentication)機能を搭載しており、著作権保護のされたディスクのコピーを再生しても、相互認証エラー (Authentication Error) となり再生されません (「This DVD can't be played in this Region.」と表示されます)。
- ・WinDVD を起動中はパソコン本体の電源ボタンを押さないでください。
- ・WinDVD の設定を変更した直後は、DVD-Video の再生が不安定になる場合があります。
- ・キャプション表示とサブタイトル表示を、同時に表示することはできません。
- ・マウスカーソルのデザインによっては、DVD 再生画面の上に移動したときにマウスカーソルが点滅することがあります。このような時は、「マウスのプロパティ」の「ポインタ」タブで、「デザイン」の設定を「なし」に変更してください。
- ・縦横比が 16:9 で録画されている DVD-Video をフルスクリーン表示させた場合、ズーム機能が使用できないことがあります。
- ・マルチモニタを設定している場合、DVD-Video の再生画面をプライマリ側からセカンダリ側に移動しないでください。誤動作の原因となります。
- ・本製品を使用する場合は、AC アダプタを使用してください。バッテリで運用すると、バッテリの寿命が短くなる場合があります。
- ・市販されているアンチウィルスソフトと WinDVD を同時に起動することはできません。自動検索の機能を持つアンチウィルスソフトに関しては、WinDVD を起動する場合は、一時的に無効化してください。なお、パソコン本体にあらかじめインストールされているアンチウィルスソフトであれば問題ありません。
- ・パソコン本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイとの同時表示時に DVD-Video を再生すると、コマ落ちが発生することがあります。

2 お手入れについて

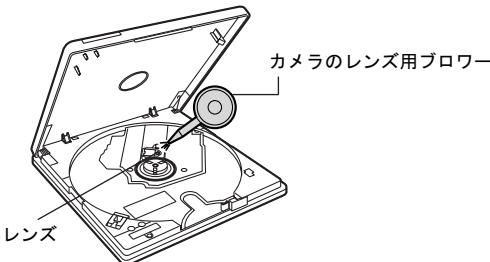
- ・月に1度は、本製品を乾いた柔らかい布で必ず清掃してください。やむをえず環境条件の悪い場所に設置する場合は、週1回以上本製品を清掃してください。



- ・本製品の近くにディスプレイが設置されている場合、ディスプレイの静電気によりほこりが集まりますので、週に1回程度ディスプレイを清掃し、本製品の周りを清潔に保ってください。
- ・殺虫剤などがかからないように注意してください。
ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどが付着すると、塗装がはがれたり変色したりすることがあります。表面の汚れは柔らかい布で拭いてください。また、煙霧状の殺虫剤などは光学部品に影響を与えますのでご注意ください。煙霧状殺虫剤などを使用するときは、本製品への影響を避けるため、事前にビニールシートなどで完全に包んでから殺虫剤などを使用してください。
- ・音とびしたり、データが読めなかつたら
 - ディスクを柔らかい布で内側から外側へ放射状に軽くふいてください。



- レンズをカメラのレンズ用プロワー (市販品) でお手入れしてください。



- ディスクタイプのレンズクリーナーは故障の原因となる場合がありますので、使用しないでください。

3 こんなときには

正常に動作しない場合は、次のことを確認してください。また、本製品以外の原因も考えられますので、システムとして組み合わされている他の機器も合わせてお調べください。どうしても原因がわからないときは故障・修理に関するお問い合わせ先（「お問い合わせ先」→P.48）、またはご購入元に連絡してください。

現象	原因	対処方法
本製品がパソコンに認識されない、または正常に動作しない	AC アダプタが正しく接続されていますか？	AC アダプタの保護機能が働いている場合があります。AC アダプタをコンセントから抜き、2~3 分放置してから再度コンセントに差してください。
	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	正しく接続されているかご確認ください。（→ P.19）
	USB ケーブルのピンが曲がったり、折れたりしていませんか？	故障・修理に関するお問い合わせ先（→ P.48）、またはご購入元にご連絡ください。
	正常にUSB ケーブルの取り外しをしましたか？	「USB ケーブルの取り外し」（→ P.20）の手順通りに行わない場合は、ドライブのアイコンが表示されない場合があります。パソコンを再起動してください。
	対応する Windows をお使いですか？	本製品は Windows XP/2000 で動作します。
ドライバが正しくインストールされていますか？	CD 仮想化ソフト (Virtual CD など) がインストールされていませんか？	CD 仮想化ソフトがインストールされている場合は、本製品が正常に認識されないことがあります。その場合は、本製品を接続したままパソコン本体を再起動してください。詳しくは、CD 仮想化ソフトのマニュアルをご覧ください。
	UDF 形式でフォーマットされた DVD-RAM を使っていますか？	DVD レコーダーなどでUDF2.0 形式にフォーマットされたディスク、または DVD-RAM ドライブで UDF1.5 または UDF2.0 形式にフォーマットされたディスクをお使いください。
	ディスクが汚れたり傷ついたりしていませんか？	ディスクが汚れたり傷ついたりすると、読み込みができない場合があります。「お手入れについて」（→ P.42）をご覧になりディスクをきれいにふいてください。
ご使用の DVD ディスク (メディア) の形式や書き込み方式は正しいですか？	UDF 形式でフォーマットされた DVD-RAM を使っていますか？	本製品で使用できるディスク (メディア) 記録方式は、「使用できるディスク」（→ P.12）をご覧ください。

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

現象	原因	対処方法
ディスクが認識されない	DVD-Video が再生できない場合は、DVD-Video 再生ソフトのマニュアルやヘルプを確認してください。	<ul style="list-style-type: none"> 複数のドライブが接続されている場合は、本製品が選択されていない場合があります。 DVD-Video と本製品および再生ソフトのリージョンコードが合っていないと再生できません。リージョンコードが合っているかご確認ください。
	ディスクはフォーマットされていますか？	目的に適したフォーマットを選択してください。
	正しいドライブアイコンにアクセスしていますか？	Windows 2000 では、ドライブのアイコンが 2 つ表示されますので、リムーバブルディスクのアイコンを選択してください。
ディスクが取り出せない（ディスクカバーが開かない）	ドライブが動作しているませんか？	<p>ディスクにデータ書き込み中はオープンボタンを押してもディスクカバーは開きません。書き込みが終了するをお待ちください。</p> <p>「DLA」をご使用の場合には、「マイコンピュータ」のドライブアイコンを右クリックし、「取り出し」を選択してください（→P.22）。</p> <p>ディスクの「取り出し」を選択してもディスクカバーが開かない場合は、強制オープンレバーを操作してください（→P.23）。</p>
正常な読み込みができない	DVD-Video の音や画像を正常に再生するには、パソコンのシステム能力が要求されます。	<p>DVD-Video 再生ソフトのマニュアルやヘルプおよび下記の事項をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> インターフェースが USB1.1 の場合、画像や音声が途切れことがあります。USB2.0 でお使いください。 他のアプリケーションを起動していたら終了してください。多くのアプリケーションを起動すると、CPU 能力が不足する場合があります。 ディスプレイの表示領域や色の設定を変更してください。表示領域や表示色を少なくすると、CPU 能力を有効に使用できます。 CPU のスピード設定をご確認ください。パソコンによっては、CPU 能力の低い省電力モードに設定されている場合があります。 音声がミュートに設定されていないかご確認ください。
	ディスクに傷や汚れがありますか？	本製品に異常がないことを確認するために、別のディスクに取り替えてみてください。
	本製品やディスクが結露していませんか？	ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置してください。
	ゴミが本製品のターンテーブルの上に付着していませんか？	「お手入れについて」（→P.42）をご覧になり清掃してください。
	ディスクまたは本製品のレンズが汚れていませんか？	
	本製品対応のディスクを使用していますか？	「使用できるディスク」（→P.12）をご覧になり、お使いのディスクをご確認ください。

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

現象	原因	対処方法
正常な読み込みができない	ラベル面を上にして、ディスクを入れていますか?	「ディスクのセット／取り出し」(→P.21)をご覧になり、ディスクの向きをご確認ください。
	パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブでは、音楽データ (CD-DA 形式)などを高速読み出しできないものがあります。	書き込んだ音楽データ (CD-DA 形式) を再生するとノイズが発生することがあります。以下の内容を確認してください。 ・本製品を使用して、パソコン本体のハードディスクドライブにデータを取り込んでから、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご覧ください。
	ドライブが USB2.0 に正しく組み込まれているか確認してください。	最高速で読み込めない場合はデバイスマネージャを確認してください。(状況によって表示が異なる場合があります)。 ・ USB2.0 の場合 通常 Enhanced Host Controller に接続されます。 ・ USB1.1 の場合 通常 Universal Host Controller または Open Host Controller に接続されます。
	ディスクによっては最高速で読み込めないものもあります。	また、規格外 CD の場合も、最高速で読み込めない場合があります。
	DVD-RAM ドライバーソフトはインストールされていますか?	Windows 2000では、DVD-RAM ドライバーソフトがインストールされていない場合、CD-ROMとして認識されてしまします。DVD-RAM ドライバーソフトを必ずインストールしてください。(→P.27)
正常な書き込みができない	複数の書き込みソフトをインストールしたまでは正常に書き込みできないことがあります。	・複数の書き込みソフトが同時に起動されている。(常駐するタイプの書き込みソフト含む) ・バージョンの違う書き込みソフトがインストールされている。本製品に添付されている書き込みソフトのみをご使用ください。
	Windows XP は正しく設定されていますか?	Windows XPをお使いの場合は、WindowsXP の書き込み機能を使用しない設定にしてください。
設定を確認してください。	スタンバイ／レジューム機能が働かないようにする。 ・常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。 ・ネットワーク接続を行わない。 ・スクリーンセーバーを使用しない。 ・アクティブデスクトップを使用しない。 ・ハードディスクのフラグメンテーションを解消する。 ・書き込み速度を変える(低速にする)。	・常駐ソフトやその他のプログラムを終了する。 ・ネットワーク接続を行わない。 ・スクリーンセーバーを使用しない。 ・アクティブデスクトップを使用しない。 ・ハードディスクのフラグメンテーションを解消する。 ・書き込み速度を変える(低速にする)。

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

現象	原因	対処方法
正常な書き込みができない	本製品の推奨ディスクをご使用ください。	<p>またご使用のディスクと書き込み速度をお確かめください。</p> <ul style="list-style-type: none"> CD-RW で 4 倍速を超える速度で書き込みを行うには High Speed 対応のディスクをお使いください。 8 倍速を超える速度で書き込みを行うには Ultra Speed 対応の CD-RW が必要です。 <p>書き込みソフトで設定した書き込み速度に対応したディスクをご使用ください。</p>
複数のドライブ、または複数の書き込みソフトを使用して追記していませんか？		同じドライブ、同じソフトで書き込むようにしてください。追記する前のデータが読み込めなくなったり、本製品およびその他のドライブでデータの読み込み／書き込みが正常にできなくなる場合があります。
USB ハブ経由で接続していませんか？		パソコン本体のUSB コネクタに直接接続してください。USB ハブ経由での接続では、正常に書き込めない場合があります。
パソコン本体内蔵 CD-ROM からオンザフライ書き込みができないことがあります。		<p>パソコン本体内蔵のCD-ROM ドライブでは、音楽データ (CD-DA 形式)などを高速読み出しきれないものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本製品を使用して、パソコン本体のハードディスクドライブにデータを取り込んでから、書き込みを行ってください。詳しくは、書き込みソフトのマニュアルをご覧ください。
パソコン本体の BIOS 設定を確認してください。		<p>BIOS の設定で USB2.0/1.1 の機能を切り換えるタイプのパソコンの場合、USB2.0 に切り換えてください。</p> <p>ノートパソコン、デスクトップパソコンに関係なく行う必要があります。また、パソコンによってはユーティリティソフトで設定を変更するものがあります。詳しくは、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。</p>
対応しているディスクをお使いですか？		DVD-RAM (2.6GB) ディスクへの記録には対応していません
ディスクにライトプロテクトが設定されていますか？		ライトプロテクトの設定を確認してください。
音が聞こえない	<p>パソコン本体の音楽 CD 再生ソフトを使って本製品で音楽 CD を再生する場合、デジタル再生が「有効」に設定されていますか？</p> <p>パソコン本体側の音量ボリュームを下げすぎていませんか？</p> <p>また、音量ボリュームの設定が「ミュート」になつていませんか？</p>	<p>デジタル再生を「有効」に設定してお使いください。</p> <p>パソコン本体側の音量ボリュームを調整してください。</p>

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

現象	原因	対処方法
書き込む前と後ではデータのサイズが異なる	ディスクとハードディスクなどのセクタサイズが違うことが原因です。	ディスクに書き込んだときは、セクタサイズの違いにより、ハードディスクに格納されたデータサイズより大きくなります。また、書き込みモードによっては、書き込むデータのほかに情報エリア分の領域も使用します。
本製品で書き込んだディスクは、他のドライブでも読み込めますか？	ディスクに対応したドライブをご使用ください。 CD-R/RWはマルチリードに対応したドライブ、DVD-RAMは対応するドライブとソフトが必要です。	作成したディスクは、一部の CD/DVD ドライブでは読み込めない場合があります。
他のドライブで書き込まれたディスクは読み込めますか？	通常は読み込みます。	ただし複数のドライブで書き込まれたディスクは、読み込めない場合があります。また、一部のドライブによって書き込まれたディスクは読み込めない場合があります。
添付されていない書き込みソフトを使うと、ドライブが認識されない	書き込みソフトが本製品に対応していないとご使用になられません。	添付のソフトをご使用ください。
縦置きで使用できますか？	縦置きでの動作は保証されていません。	故障の原因となる場合があります。水平に設置された状態でご使用ください。
本製品、AC アダプタなどが温かい	故障ではありません。	異常に高温になる場合は、AC アダプタを外し、故障・修理に関するお問い合わせ先 (→ P.48)、またはご購入元にご連絡ください。

お問い合わせ先

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、ご購入元にご確認いただくか、以下それぞれのお問い合わせ先にご相談ください。

* 故障・修理に関するお問い合わせ先

[法人のお客様]

■ 「富士通ハードウェア修理相談センター」

- フリーダイヤル 0120-422-297

- お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日および年末年始を除く)

[個人のお客様]

■ 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222

- お問合せ時間 24 時間、365 日対応

* 技術的なご質問、ご相談のお問い合わせ先

■ 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

- フリーダイヤル 0120-950-222

- お問い合わせ時間 9:00 ~ 17:00 (土曜、日曜、祝日を除く)

・ おかげ間違いのないよう、ご注意ください。

・ 各窓口ともダイヤル後、音声ガイダンスに従い、ボタン操作を行ってください。

・ お客様の相談内容によって、各窓口へご案内いたします。

・ システムメンテナンスのため、お問い合わせ時間であっても受け付けを休止させていただく場合があります。

リサイクルについて

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けてます。

・ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」(<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>) をご覧ください。

・ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

■24時間以上の連続使用について

- ・本製品は、24時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

4 用語集

BIOS (バイオス)	正式名は Basic Input Output System で、フロッピーディスク ドライブやハードディスク ドライブなどのディスク ドライブ、キーボードなどパソコンのハードウェアを動かすために必要となる最も基本的なソフトウェアです。通常はパソコン本体に内蔵されています。
CD Extra	音楽 CD のデータの他に、CD-ROM のデータが記録された CD のことです。特に内周側を通常の音楽 CD、それより外周側を CD-ROM として使用しているものの呼称です。
	
CD-R	正式名は Compact Disc Recordable で、一度だけ書き込み可能なコンパクトディスクです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追記が可能です。
CD-RW	正式名は Compact Disc ReWritable で、書き込んだデータ全体または最後のセッションを消去できるため、何度も書き込みや書き換えが可能です。
Disc at once (ディスクアットワンス)	CD 全体のデータをまとめて作成し、一度に書き込む方法です。追加書き込みはできません。
DVD	正式名は Digital Versatile Disc (デジタル多目的ディスク) で、CD と同じサイズの DVD-ROM は CD-ROM の 7 倍以上のデータ容量を持っています。
DVD MULTI RECORDER	DVD 機器の互換性を保証する規格で「DVD MULTI RECORDER」のロゴを持つドライブなら、DVD-RAM/DVD-R/DVD-RW の各フォーマットでの記録ができます。
DVD-R	DVD フォーラムによって規格化された追記可能な 1 回記録型の DVD メディアで、「for General (民生用)」と「for Authoring (業務用)」があります。
DVD-R DL(Dual Layer)	DVD フォーラムによって規格された、片面で 2 層の記録層を持った追記可能な 1 回記録型のメディアです。DVD-R の約 2 倍 (8.5GB) の記録容量を持っています。
DVD-RAM	DVD 規格のひとつで、ディスクに繰り返しデータの読み込み／書き込みができるリムーバブルのことです。
DVD-RW	DVD フォーラムによって規格化された繰り返し記録・再生ができる DVD メディアで、「for Data (パソコン用)」と「for Video (録画用)」があります。

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

DVD-Video (ビデオ)	DVD 仕様のひとつで、映画など、主に家庭用ビデオソフトを DVD に記録したものです。音声や字幕の言語、カメラアングルなどを切り替える機能があります。
DVD+R	DVD+RW アライアンスによって策定された追記可能な1回記録型のメディアで、記録できる容量は DVD-R と同じです。
DVD+R DL (Double Layer)	DVD+RW アライアンスによって策定された片面で二層の記録層を持った、追記可能な1回記録型のメディアです。DVD+R の約2倍(8.5GB)の記録容量を持っています。
DVD+RW	+RW アライアンスによって策定された、繰り返し記録・再生ができるメディアです。DVD-RW と同じ記録容量がありますが互換性はありません。データを記録する場合は、フォーマット実行後にデータを記録します。
DVD ビデオレコーディング規格	DVD 規格のひとつで、DVD のディスクにビデオデータを記録する方式のことです。「VR 規格」や「VR フォーマット」とも呼ばれます。
DVD-VR 規格、DVD-VR フォーマット	DVD フォーラムによって規格化されたビデオレコーディング規格で、ビデオデータを記録・編集できます。単に -VR、VR とも呼ばれ、DVD-Video 形式や DVD+VR 形式とは互換性がありません。DVD-RAM や DVD-RW に使用されています。
DVD+VR 形式、DVD+VR フォーマット	DVD+RW アライアンスによって策定されたビデオレコーディング方式で、ビデオデータを記録・編集できます。単に +VR とも呼ばれ、DVD+RW メディアに使用されますが、DVD-VR とは互換性がありません。
High Speed CD-RW	4 倍速から 10 倍速の書き込みに対応した、新しい CD-RW のディスクです。書き込みには、High Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。
Multiborder (マルチボーダー)	CD-R で採用されている「マルチセッション」と同等の機能で、DVD-R で追記を可能にする方式です。
Multisession (マルチセッション)	CD-ROM のフォーマットのひとつです。1 枚の CD に複数のセッションが記録されているものを指します。
Packet writing (パケットライティング)	パソコン上でファイルとして扱えるデータをパケットと呼ばれる単位で書き込む方法です。
Photo CD	米国の Eastman Kodak Company により研究開発された技術です。1 枚の CD-ROM にたくさんのイメージ画像 (写真など) が保存できます。
SmoothLink	松下電器産業株式会社で開発された、「バッファアンダーランエラー (転送速度エラー)」を回避することができる技術です。



スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

Track at once (トラックアットワンス)	ひとつのトラックを、一度に書き込む方法です。CD Extra の作成などに利用されます。
UDF フォーマット	Universal Disk Format の略で、パケットライティングや各種 DVD ディスク (DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、DVD-RW) に採用されているディスクフォーマットです。
Ultra Speed CD-RW	8 倍速から 24 倍速の書き込みに対応した、CD-RW のメディアです。書き込みには、Ultra Speed CD-RW に対応したドライブが必要です。
USB	Universal Serial Bus の略で、各種の周辺機器とパソコン本体を接続するための業界標準規格です。
USB 2.0	USB 2.0 は、USB-IF (USB Implementers Forum) によって制定された、USB1.1/1.0 上位互換の高速な USB インターフェースです。データ転送は最大で USB1.1 の約 40 倍になります。
インストール	一般に、デバイスドライバなどのソフトウェアをパソコン本体のシステムに登録する作業をいいます。
エンコード	動画データを DVD ビデオ規格に適した MPEG ファイルに変換処理を行うことです。パソコンの CPU を使うソフトウェアエンコードと、専用 IC を使うハードウェアエンコードがあります。
オンザフライ方式	データをソースファイルから直接読み込んで、CD-R/RW に書き込む方式です。大きなイメージファイルを必要とせず、ハードディスクの空き容量が少なく済みます。ただし、パソコン本体の内蔵 CD-ROM ドライブにソースファイルがある場合には、書き込みが間に合わず、エラーが発生する場合があります。
記録予備領域 (交替領域)	DVD-RAM ディスクの記録領域で、ユーザー管理領域 (使用領域) 外に、記録時に記録状態の悪いセクタを確認し、データを退避させる予備の記録領域です。
再生可能地域コード (リージョンコード)	DVD-Video を再生できる地域を管理するためのコードです。日本のコードは「2」です。 (→ P.37)
バックグラウンドフォーマット	DVD+RW メディアを使用する際に、最初に必要最低限の部分のみ通常のフォーマット処理を行い使用可能にします。ドライブが使用されていない間を利用して、残りの記録領域を自動的にフォーマット継続するフォーマット処理の方法です。
バッファアンダーラン、 バッファアンダーランエラー	CD-R/RW ドライブのバッファメモリ内のデータを書き込み中に、瞬間に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう現象で、書き込みエラーとなります。

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の記録を行い、セクタ(ディスクでデータを管理する単位) レベルでのアクセスを可能にする動作のことです。
ホットプラグ	周辺機器をパソコン本体の電源が入った状態で抜き差しする操作をいいます。
論理フォーマット	初期化(イニシャライズ)とも呼びます。DVD-RAMがパソコンで記録・再生できるよう、システムの各種管理情報をディスクに記録することです。

5 仕様

使用環境	温度 5 ℃～35 ℃、湿度 20%～80% (結露なきこと)
保存環境	温度 -20 ℃～55 ℃、湿度 15%～85% (結露なきこと)
本体外形寸法	W135 × D136 × H15mm
本体質量	約 290 g
電源	AC アダプタ (UJDB360PS2) AC 100 - 240 V、50/60 Hz
消費電力データ (AC 100 V 時)	転送時：約 13W AC アダプタ：約 1 W
対応インターフェース	USB2.0 および USB1.1
専用 USB ケーブル	ケーブルの長さ：約 0.5 m (コネクタを含む) 質量：約 30 g
バッファ容量	2MB
対応フォーマット (読み出しのみ)	CD-DA (音楽 CD) CD TEXT CD-EXTRA CD-ROM (Mode 1、Mode 2 Form 1) CD-ROM XA (Mode 2 Form 2) Photo CD ^{注1} (マルチセッション対応) Video CD DVD-ROM DVD-Video
対応ディスク ^{注2}	CD-R (80 分 /74 分) CD-RW (80 分 /74 分) High Speed CD-RW (80 分 /74 分) Ultra Speed CD-RW (80 分 /74 分) DVD-RAM ^{注3} 両面：9.4/5.2/2.8GB 片面：4.7/2.6/1.4 GB DVD-R (for General、Ver 2.0) : 4.7/1.4GB DVD-RW (Ver1.2/1.1) : 4.7GB DVD+R (Ver1.2/1.1/1.0) 4.7GB DVD+R DL (Ver1.0) 8.5GB DVD+RW (Ver1.2/1.1) 4.7GB
リージョンコード設定	購入時設定：2 (日本地域に設定) 設定変更回数：4 回 (4 回目以降は変更不可)
シークタイム (自社測定ソフトによる)	DVD-ROM : 180ms CD-ROM : 150ms

スーパーマルチドライブユニット (FMV-NSM51) 取扱説明書

記録	DVD-RAM ^{注5}	最大 5 倍速、3 倍速、2 倍速
	DVD-R	最大 8 倍速、最大 6 倍速、最大 4 倍速、2 倍速、1 倍速
	DVD-R DL	2 倍速
	DVD-RW	最大 4 倍速、2 倍速、1 倍速
	DVD+R	最大 8 倍速、最大 6 倍速、最大 4 倍速、2.4 倍速
	DVD+R DL	2.4 倍速
	DVD+RW	最大 4 倍速、2.4 倍速
	CD-R	最大 24 倍速、最大 16 倍速、最大 12 倍速、8 倍速、4 倍速
	CD-RW	4 倍速
	CD-RW (High Speed)	10 倍速、8 倍速、4 倍速
	CD-RW (Ultra Speed)	10 倍速、8 倍速
	DVD-RAM	最大 5 倍速、3 倍速、2 倍速 (4.7GB) 1 倍速 (2.6GB)
再生	DVD-R、 DVD+R	最大 8 倍速
	DVD-R DL、 DVD-RW、 DVD+R DL、 DVD+RW	最大 6 倍速
	DVD-Video	最大 4 倍速
	DVD-ROM (Single)	最大 8 倍速
	DVD-ROM (Dual)	最大 6 倍速
	CD-ROM、 CD-R、 CD-RW	最大 24 倍速
	CD-DA	最大 20 倍速

注 1 : Photo CD 使用時には市販の再生ソフトが必要です。

注 2 : ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。両面ディスクは、同時に両面の再生はできません。

注 3 : カートリッジ形式のディスクは、TYPE2、TYPE4 のディスク取り出しができるものに限ります。

注 4 : データ転送速度はパソコンの性能に依存して低下する場合があります。

注 5 : 2.6GB (片面) DVD-RAM ディスクへのフォーマットおよび記録はできません。

■ システムの必要条件

対応パソコン ^{注1}	FMV-ESPRIMO、FMV-LIFEBOOK
対応 OS	Windows XP/2000

□ 映像系アプリケーション (DVD-Video 再生ソフト) 使用時

CPU	Celeron400MHz 以上 (Pentium III 700MHz 以上を推奨)
メモリ	128MB 以上を推奨
ハードディスク空き容量	20MB 以上
グラフィック環境	16 ビット解像度、SVGA 表示、Direct X 対応 (Direct X 8.1 以降)

□ データ系アプリケーション (書き込みソフト) 使用時

CPU	300MHz 以上
メモリ	256MB 以上
ハードディスク空き容量 ^{注2}	インストール用 40MB 以上、記録用 700MB 以上

注 1: いずれも、USB ポートを搭載した機種に限ります。

USB2.0 でお使いいただくには、パソコンが USB2.0 に対応している必要があります。パソコンが USB2.0 に対応していない場合、本製品は USB1.1 環境で動作します。

注 2: 安定した書き込みを行うために、連続した領域を確保してください。

**FMV シリーズ
スーパーマルチドライブユニット
(FMV-NSM51)
取扱説明書**

B5FY-6441-01-00

**発行日 2005年11月
発行責任 富士通株式会社**

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。